

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://atsukokudomm.com/>

Vol.46

SPRING
2012



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

霊の目を開いてください

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表 工藤 篤子

私はいつも、自分の目の前に主を見ていた。

主は、私が動かされないように、

私の右におられるからである。

それゆえ、私の心は楽しみ、

私の舌は大いに喜んだ。

(使徒の働き 2:25、26)



1月～3月、ドイツにて、聖書の学びと賛美資料の翻訳に時間を当てました。そのために、主に「霊の目を開いてください」と祈り願いました。聖書の学びも賛美研究も、霊の目が開かれないと理解できないと思ったからです。

その後、予期しなかった出来事が続きました。親しい友人たちの度重なる事故や病気、時間のかかる役所の書類手続き、解決の糸口が見えないいくつかの課題、さらには、そうひどくはないのですが、何度も繰り返す感染症でした。外も内もうごめく中で、しかし、聖書の学びと賛美資料の翻訳は、不思議にも着々と進んで行きました。それは、これらの内外のさまざまな出来事が、私の目を主から離さないようにする警鐘の役目を果たしてくれたからでした。圧迫や困難がなければ、私はあれほどまでに主を渴望し、祈ることもしなかったのではないかと思います。

この間、私の心には、「全能者が私をひどい苦しみに会わせた」(ルツ記1:20)というナオミのことばが絶えず響いていました。一見、否定的、悲観的に思えることばです。私も以前は、これは、モアブの地で夫とふたりの息子を亡くしたナオミの嘆きであると思っていました。しかし、これは嘆きではないことが見えてきたのです。良い時も悪い時も、ご自身の主権をもって支配しておられる全能者を知り、そのお方が与えた状況を受け入れる者のことばであることに気付かされるようになりました。ナオミは、確かに、主が恵み豊かな神であることを知っていました。彼女は、「生き

ている者にも、死んだ者にも、御恵みを惜しまれない主」(ルツ記2:20)と告白しています。ナオミは、生きている彼女にもルツにも、どのような時も主は恵みを惜みせず注いでおられること、そして、既に死んだ夫やふたりの息子も、確かに主の恵みを受けて地上で暮らし、死ぬときも、恵みによってそのたましいは神のみもとへ帰って行ったことを確信していたに違いありません。

「霊の目が開かれる」とは、神のみことばを信じ、すべてをご支配しておられる主に身を委ね、そこにおられる主を見ることであったのだと、今、気付かされています。ナオミや、被災地の方々の苦しみに比べれば、時折私に降りかかる課題などは些細なことではかありませんが、主がご自身のご計画をもって、さまざまな状況に置かれることを、真摯に受け止めたいと思います。どうか、恵みの主が、安泰な時も、喜びの時も、苦難や懲らしめの時も、キリストのみからだに連なる私たちを、いつも主を見続ける者とさせていただきますように！そうすれば、私たちの心には喜びが与えられ、私たちの舌は心から主をあがめ賛美します。主の御顔を拝しつつ、今年も賛美と証しの歌と共に、いのちの道であるキリスト・イエスを宣べ伝えてまいりたいと思っています。お祈りお支えください。

あなたは、私にいのちの道を知らせ、
御顔を示して、私を喜びで満たしてください。

(使徒の働き 2:28)



2 賛美の花束 12

よき力に守られて Dietrich Bonhoeffer

今年、アメリカでは、NY在住のジャーナリスト、エリック・メタクス氏の著書「ボンヘッファー～牧師・エージェント・殉教者・預言者」がベストセラーになりました。キリストのためにナチスに対抗して戦った神学者、ディートリヒ・ボンヘッファー（Dietrich Bonhoeffer 1906～1945）こそ、私の信仰の歩みに最も影響を与えた人のひとりです。

スペインで信仰に導かれた私は、1987年、アメリカ人宣教師夫妻と共に、ドイツへ開拓伝道の同労者として赴きました。宣教地ハンブルクで迎えた最初の大幅日礼拝で、私は初めてディートリヒ・ボンヘッファーのことを知りました。午前零時の新年を告げる教会の鐘が鳴ろうとしていた時、牧師が短くボンヘッファーの生涯を説明しました。それから私たちは、ナチスに捕えられた彼が獄中から婚約者とその家族に送った詩、「よき力に守られて」を共に賛美しながら、新しい年を迎えたのです。忘れることの出来ない感動的なひと時でした。その後、彼の伝記を読み、キリスト者としての生き方を大きく揺さぶられました。そして今も、彼の残したさまざまな書簡を通して、多くのことを問われ続けています。

1. 神学者からキリスト者へ

ディートリヒは1906年、優秀な精神科教授であった父カールと、プロイセンの名家の出の母パウラの6男として生まれました。ベルリン大学で神学を勉強し、何と21歳で博士号を取得、翌年にバルセロナの教会の副牧師、1929年(23歳)にはベルリン大学の助手を務めました。1931～32年(25～26歳)アメリカに留学、ここでアフリカ系アメリカ人に対する人種差別を知り、このことがボンヘッファーの霊的覚醒のきっかけになったと考えられます。少なくとも1933年のナチス台頭前に、彼は明確な霊的变化を体験しました。彼はその時のことを、「聖書は私を解放し」、「突然、聖書が分かるようになった」と、後に友人に当てた手紙の中で告白しています。

2. 告白教会、エージェント

生きたことばに触れ、真にキリストに従うようになったディートリヒは、人が本来の在り方に戻るには、罪の認識と告白(悔い改め)が不可欠であると説きました。そして、教会は「キリストの恵みを通して、キリストに対する罪責の認識に導かれた人間の共同体」であり、「この告白によって、世界の全部の罪責が教会の上にかかってくる。」という表明が、彼を「告白教会」の働きに導きました。ついには「教会は告白する。教会は残忍な暴力の恣意的な行為、無数の罪なき者たちの肉体的、精神的な苦しみ・抑圧・憎悪・虐殺を、その人々のために声を上げようとせず、急いで彼らを助けに行く道を見つけようともせず傍観していた。教会は、最も弱く、最も無防備なイエス・キリストの兄弟たち(注:ユダヤ人のこと)の生命に関して罪ある者となってしまった。」と語り、後には「ただ一人、歴史を導く神の摂理に自らの決断と行為を引き渡す」という選択のもと、1939年、ドイツ軍諜報部内のヒトラー暗殺計画に加わりました。



1932年イースター、シオン教会にて聖信札を授けた少年少女たちと

3. 婚約・殉教

1943年1月(36歳)、ディートリヒはマリア・フォン・ヴェーデマイヤー(当時19歳)と婚約しました。しかしその3か月後の4月5日、彼はユダヤ人14人をスイスに逃したという罪状で逮捕されました。1944年7月20日、ヒトラー暗殺計画「ヴァルキューレ作戦」は失敗に終わりました。その後、ディートリヒも暗殺計画に加担していたことが発覚し、1945年4月9日、ナチスが敗北に終わる一ヶ月前に絞首刑で39歳の生涯を終えました。

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

産科・婦人科・小児科
医療法人社団グロリア会
月寒グロリアクリニック
院長 平島 功二
副院長 片桐 博
〒062-0053
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

合資会社
富川グロリアホーム
「終の住みか」を備えるために
労れます。
〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-2-3785

心を尽くし・思いを尽くし・知性を尽くし
力を尽くして全人的に仕える医療と福祉
医療法人社団
湯川胃腸病院
●日本医療機能評価認定病院
●ISO9001・2008認定施設
〒543-0033
大阪市天王寺区堂ヶ芝2-10-2
TEL.06-6771-4861
http://yukawa.or.jp

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー
本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

内科 小児科 **阿多医院**
院長 阿多 雄一
〒729-5731
広島県庄原市西城町西城63
TEL.0824-82-2619 FAX.0824-82-1155

翻訳 TECHNICAL TRANSLATION
有限公司 日新ドキュメントサービス
代表取締役 今井和典
〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター 3階
TEL.06-6233-8566 FAX.06-6233-8567
E-mail:k.imai@nisshin-ds.co.jp

キリストの愛が私達を取り囲んでいる
株式会社 チュチュアンナ
代表取締役 上田利昭
大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目3-1
TEL.06-6773-1546(代)
FAX.06-6773-1564

VIP関西センター
〒541-0041
大阪市中央区北浜2-3-10
VIP関西センター6F
TEL.06-6232-1185
FAX.06-6232-1184(連絡先:梅津善一)

ビデオ撮影・編集・ダビング
ホームページ作成 etc
株式会社 トライアート
代表取締役 背野 康英
〒530-0022
大阪市北区浪花町1-18-503
TEL/FAX 06-7175-5244
HP: http://tryart.biz

**メタボリック・肩こり・腰痛
体操指導**
専任講師派遣します。
問い合わせ先
広瀬フォーム(株)
TEL 06-6923-5989

4. キリストの弟子

彼は1944年の春にはすでに死を覚悟していたことが書簡に記されています。にもかかわらず、収容所の人々は、彼を「まことに謙遜で、いつも微笑みをたたえ、神の栄光が輝いているようであった。」と評し、また彼の最後を看取った収容所の医師は、「…彼の真摯な祈りが、神は確かに祈りを聴きたもうという確信に溢れていたのに、私は非常に深い感銘を受けた。処刑される時にも、彼は短い祈りをささげ、それから力強く落ちて絞首台へ階段を昇って行った。私は今まで、これほど神にすべてをゆだねて死に就いた人を見たことがない。」と述べています。

「キリストの弟子であるということは…苦しむ者、捨てられた者として、…すなわち共に十字架につけられた者としてのみ弟子である。自分を捨てるとは、ただキリストだけを知ること、もはや自分自身を見ず、先立ってゆく彼だけを見ることを意味する。」と自ら語った通りに生きたボンヘッファーの証しと神学は、これから後も多くのキリスト者に、いかに生きるべきかを提示し続けて行くことでしょう。

成長・成熟は、急激に与えられるものではありません。今日の生き方が明日につなげられ、少しずつ成長させられていくのだと思います。もちろん、主の道を踏み外した時には、赦しと憐みの主のもとに立ち返り、再び主と共に歩みを始めることができます。しかし、今日の決断、今の決断を主にあって成していくことができるなら、それを積み重ねていくことができるなら、どれほどの豊かな実を結ぶことになるでしょう。ボンヘッファーが辿った道のりは、今、私に、「今日という一日をキリストに従い、キリストの弟子として生きなさい、それを毎日続けなさい、死に至るまで」と示唆してくれているようです。この春、彼の「よきかに守られて」を賛美しつつ、キリストの小道を歩ませていただきたいと思います。



双子の姉妹ザビーネと

- 参考文献:
 ●「BONHOEFFER PASTOR, AGENT, MÄRTYRER UND PROPHET」, Eric Metaxas著, SCM Hänssler出版(original title of book: BONHOEFFER: Pastor, Martyr, Prophet, Spy)
 ●「ボンヘッファー」村上 伸著(清水書院)
 ●「ボンヘッファー家の運命」ザビーネ&ゲルハルト・ライブホルツ著、初宿正典訳(新教出版社)

よきかに守られて VON GUTEN MÄCHTEN

Dietrich Bonhoeffer, 1944年クリスマス

よきかに信実(まこと)に静かに囲まれ、不思議にも守られ慰められて
私はこの時を君たちと共に生き、共に新しい年へと歩んで行きたい

古い年は私たちの心をおも悩まし、
悪しき日々の重荷はさらに私たちにのしかかる
ああ、主よ、恐れおののく私たちのたましいに、
あなたが備えてくださった救いをお与えください

あなたが苦き杯を、苦しみの杯を溢れんばかりについで差し出されるなら
私たちはそれを、ためらわずに感謝して
あなたの慈しみと愛の御手から受け取ろう

しかし、この世と太陽の輝きとに対する喜びを
あなたがもう一度与えてくださるなら
すべての過去を記憶に刻み、
そして、私たちの生は全くあなたのものとなるだろう

あなたがこの闇の中に与えてくださったろうそくの炎を
今日、静かに燃やしてください
みこころならば、私たちを再び会わせてください
私たちは知っています、あなたの光が夜の闇を貫いて輝くことを

静けさが今や深く私たちの周りに広がる時 相共に聴こうではないか
目に見えぬところで私たちの回りに広がってゆく世界のあの豊かな響きを
あなたのすべての子らが高らかにうたう賛美を

よきかに不思議にも守られ抱かれて
慰めを受けつつ私たちは来るべきものを待つ
神は夜も朝もまた新しい日々も 確かに私たちと共におられる
(私訳)

工藤 篤子 著書 & 音楽CD 好評発売中

教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応え
できる聖地旅行を企画、見積もりいた
します。充実、お手頃価格、手作りの
ツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjr@mifty.com



著者:工藤 篤子
出版社:イーグループ
定価:1,575円(税込)



「ほんとうの願い」
The True Desire
定価3,000円(税込)



神だけが
定価2,500円(税込)



カンシオン
定価2,500円(税込)



Come To Me
定価3,000円(税込)



たましいの歌
定価3,000円(税込)



讚美 Adorar
定価1,200円(税込)



鳥のうた
定価2,500円(税込)

*ご注文、お問い合わせは事務局まで。

Schedule

工藤篤子 2012年春夏のスケジュール

4月		6月	
15日(日)	「春のコンサート」	12日(火)~25日(月)	「アメリカ西海岸コンサートツアー」
5月		16日(土)	サンフランシスコ、キリスト合同長老教会 1700 Sutter Street, San Francisco, CA 94115 Tel. 415-567-3988
2日(水)~7日(月)	「ミャンマー、タイ」	17日(日)	サンロレンゾ・キリスト教会 615 Lewelling Blvd. San Leandro, CA 94579 Tel. 510-483-9470
3日(木)	ヤンゴン、孤児院訪問	19日(火)	マリナー第一バプテスト教会 234 Carmel Avenue, Marina, CA 93933 Tel. 831-384-0307
4日(金)	ヤンゴン、賛美コンサート	24日(日)	LAゴスペルベンチャー・インターナショナル教会 17811 S Western Ave. Gardena, CA 90248 Tel. 310-274-9444
16日(水)~20日(月)	岩手県	8月	
18日(金)	被災地コンサート 大船渡 カメリアホール 19:00~	1日(水)~5日(日)	第29回ヨーロッパ・キリスト者の集い(オランダ)
19日(土)	被災地コンサート 宮古 グリーンピア三陸宮古体育館 13:30~		
24日(木)	帰独		



Prayer request プレイヤー・リクエスト

🙏 ミャンマーのために

AKWMでは、2008年からミャンマー支援を続けてきましたが、今年5月に初めてミャンマーに向かわせていただきます。4日、ヤンゴンで予定されているコンサートのためにお祈りください。また、AKWMチャリティコンサート、その他の団体の支援によって、昨年建築完成した孤児院に訪問いたします。孤児院と子供たちのためにお祈りください。

🙏 被災地のために

今もなお先が見えず、多くの方々が不安に包まれています。5月18日、19日に、岩手県でコンサートを予定していますので、御霊の力をいただき、キリストの慰め、救い、希望をお伝えすることが出来ますようお祈りください。現地への息の長い支援が続けられますように。たゆまず祈り続けてまいりましょう!

🙏 サンフランシスコ、ロスアンジェルスのために

6月、サンフランシスコとLAの4つの日系人教会で賛美コンサートをさせていただきます。多くの日系人、現地の方々が来てくださいますように。アメリカはキリスト教が浸透している国ですが、アメリカ在住のクリスチャンたちが霊に燃やされ、教会が神の御力によって、さらに伝道に励んでいきますよう、お祈りください。

🙏 AKWMの必要のために

ここ数か月、財政的に厳しい状況が続いています。主が毎月の必要を満たして下さいますようお祈りください。



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

郵便振替口座 00900-7-317989 「工藤篤子音楽ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 西心斎橋支店 (店番540)
普通預金 0885935 「工藤篤子音楽ミニストリーズ」

✉ メールマガジン登録受付中!

akmm@atsukokudomm.com

メルマガ購読を希望される方、また連絡などは上記のメールアドレスまでに。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホーム・ページでもご覧になれます。

Japanese HP <http://atsukokudomm.com>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

※昨年より名称を「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」と変更しましたが、口座名は従来の「工藤篤子音楽ミニストリーズ」のままお振込みください。三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。